

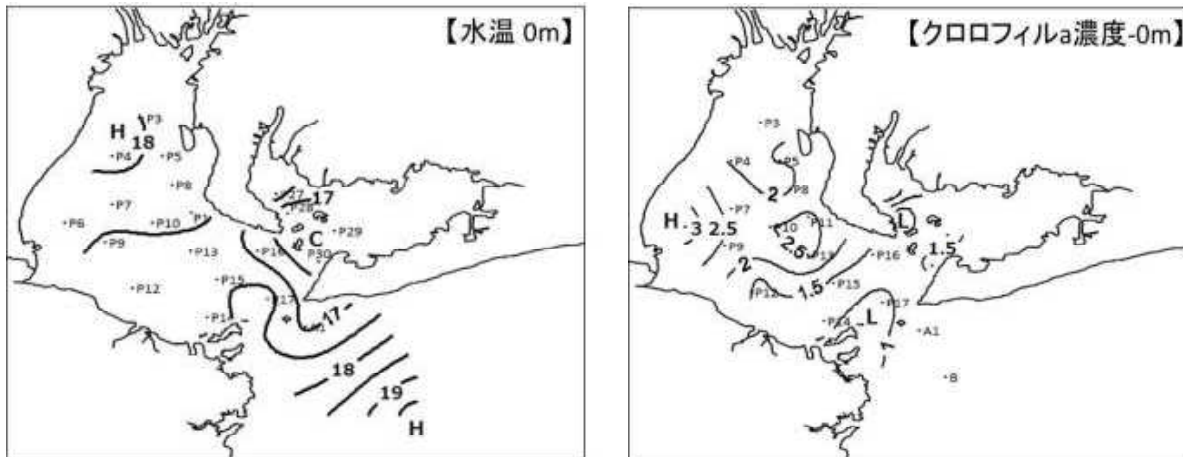
海況情報

愛知県水産試験場漁業生産研究所

平成 29 年 5 月 17 日

【内湾観測結果（調査日：5月1日、10～11日）】

伊勢湾～湾口域の調査を10～11日、三河湾の調査を1日に実施しました（A1、A10は5月8日の値）。表層水温は、伊勢湾と湾口域で16～18℃、三河湾で16～17℃となっています。先月の調査と比べ、各海域とも4℃ほど昇温しており、湾奥部と湾口～外海で表層水温が高くなっています。クロロフィルa濃度は、伊勢湾西部で高く、湾口部で低くなっています。



【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

鉛直分布図をみると、水温、塩分、密度ともに成層しています。また、P3～P15の底層に σ_t が25以上の重い水塊がみられ、湾口（P17～A1）底層の海水が水深20m付近を湾奥に向けて流れている模様です。このように湾口底層水が中層に陥入していることから、今後貧酸素水塊が急速に発達すると考えられます。クロロフィルは、水深10m付近に極大層がみられ、湾口部から外海では低くなっています。

